

ふくい土地改良

265



「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展2021 水土里ネットふくい会長賞

「のうやくヘリコプター」 坂井市立加戸小学校 1年生 藤木 詠斗 さん

(受賞時の学年を記載しています。)

新年のご挨拶

.... 1

行事報告

.... 15

- ・全国土地改良事業団体連合会 第64回通常総会
- ・第14回 福井県農村整備事業推進協議会 通常総会
- ・福井県土地改良事業団体連合会 第225回理事会
- ・福井県土地改良事業団体連合会 第64回通常総会
- ・福井県受益農地管理強化委員会
- ・福井県管理運営体制強化委員会
- ・福井県多面的機能発揮推進協議会 通常総会
- ・令和3年度 北陸地区農地集団化促進協議会 総会

土地改良功労者等表彰

.... 18

- ・福井県土地改良事業団体連合会 第64回土地改良功労者表彰・感謝状
- ・第63回全国土地改良功労者等表彰 農業農村整備優良地区コンクール 表彰状授与式

要請活動

.... 20

- ・北陸四県土地改良事業団体連合会協議会 令和4年度 中央要請

- ・全国土地改良事業団体連合会 都道府県土地改良事業団体連合会 合同要請
- ・県内各農業農村整備事業推進協議会 合同要請
- ・農業関連5団体による 合同要請
- ・全国土地改良大会 福井県知事要請
- ・農業農村整備事業 福井県知事要請

研修等活動

.... 23

- ・令和4年度 土地改良区等新採用職員研修
- ・令和4年度 統合整備推進研修(会計研修)
- ・令和4年度 土地改良区役職員研修会
- ・北陸ブロック換地関係異議紛争処理実務研修会
- ・ふくい水土里ネット女性の会 設立総会・R4総会・研修会
- ・第44回土地改良大会 沖縄大会

相談窓口・農業基盤整備資金利率

.... 27





新年のご挨拶

水土里ネットふくい
会 長 山 崎 正 昭

新年あけましておめでとうございます。

会員をはじめ土地改良関係者の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、平素より本会の業務運営に格段のご高配を賜りますとともに、農業・農村の振興に多大なるご尽力とご協力を頂いておりますことに対し深く感謝を申し上げます。

昨年を振り返りますと、コロナ禍、ロシアのウクライナ侵攻、円安等により厳しい日本経済となりました。農業分野でも肥料や飼料をはじめ農業資材の高騰などによる農業経営の逼迫により、食料安全保障への懸念が高まり、平時から国民に対する食料の安定供給の重要性が求められております。そのためにも食料自給率、食料自給力を向上させ国内生産の増大が図れるよう農業基盤整備が重要となっておりまいます。本会といたしましても、農業生産の持続的な発展のため、今まで以上に農地の大区画化や畑地化、汎用化に加え、農業水利施設の適切な更新・整備等の取組みを強化していかなければなりません。

また、昨年も一年を通して全国各地で多くの災害に見舞われました。本県でも8月3日からの記録的な大雨により勝山市や南越前町では甚大な被害が発生し、農地や土地改良施設の被害に加えて、北陸自動車道、国道8号線、J R北陸線が土砂崩れの影響で寸断されるなど交通インフラにも深刻な影響が出ました。

被災された皆様に対しまして心よりお見舞い申し上げます。

さて、国においては、食料・農業・農村基本法の見直しが現在進められています。昨年末に食料安全保障強化政策大綱が策定され、食料安全保障の強化、スマート農林水産業による成長産業化・食品の輸出促進・農林水産業のグリーン化対策が取りまとめられ、今後の農林水産政策の柱として掲げられました。今後は、新たな食料・農業・農村基本法の改正結果を踏まえ、農業情勢の変化に対応した我が国の農業政策が示されます。

また、国の農業農村整備予算につきましては、令和5年度当初予算4,457億円と、既に成立しております防災減災、国土強靱化のための5か年加速化対策及びT P P対策、食料安全保障対策としての令和4年度補正予算1,677億円を加え、総額6,134億円となっております。

本県をはじめ全国の土地改良関係者が一致団結の基で確保される予算を、多くの問題を抱える我が国の農業、本県の農業農村振興のため、本会が先頭に立って土地改良事業の推進に長年培った経験と技術力を発揮して有効に活用していかなければいけません。

今年10月11日には、「水土里（みどり）」がある「幸福（しあわせ）」がある「笑顔」がある～ふくいで語る土地改良の未来～をテーマに、全国土地改良大会福井大会が開催されます。本大会は、参加される方々に、越前の緑豊かな山々と若狭の清らかな水からなる福井県の風土に触れていただき、ここ“幸せの地福井”にて今ある幸せな暮らしを将来に向かって守っていくために必要な土地改良の大切さを共有し、発信するため開催されるものです。

大会成功に向け、会員皆様のご支援とご協力を賜り、関係者一丸となって取り組んで参る所存です。

最後になりましたが、令和5年が明るく実り多い年でありますように、皆様方のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。





農業に新たな価値と創造を生み出すための基盤整備

福井県知事 杉 本 達 治

新年明けましておめでとうございます。

水土里ネットふくいの皆様には、日頃から本県の農業行政の推進に格別のご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

県では2040年の福井県の将来像を描いた「福井県長期ビジョン」を策定し、どのような姿を目指し、どのような政策を進めているかを県民の皆様にお示ししており、福井の生活や文化、農山漁村の風景を形づくってきた農林水産業について、「稼ぐ力」を一段と高め、若者が憧れる新たな成長産業に飛躍させることとしております。

農業は福井県の基であり、食料生産だけでなく、地域の活力や環境をも支える重要な産業です。

誕生5周年を迎えた「いちほまれ」は、令和4年産として7,000トンの出荷を予定しており、新たに取扱いを始めた県外の大手量販店や米穀店などを含む2,200店舗あまりで販売され、前年を上回る状況となっています。現在、第3次いちほまれブランド戦略の策定を進めており、さらなる生産拡大と高価格帯での販売の両立を目指してまいります。

また、福井の“そば”は「そばがおいしいと思う都道府県」のweb投票で2年連続全国1位に選ばれており、「そばと言えば福井」のイメージ定着と認知度向上を図るため、福井そばの定義やロゴマークの検討などブランディングを進めております。

農家の所得向上のキーとなる園芸については、水田を活用した園芸の拡大や大規模施設を全県展開するとともに、品目別に1億円規模の産地を目指す「園芸タウン」の取り組みも進めております。

令和6年春の北陸新幹線福井・敦賀開業に向けて、県産ブランド食を定着させ県内外のお客様に十分に提供できるよう、生産拡大に向けた取り組みを強化してまいります。

こうした農業施策の土台を支えるのは、整備された生産基盤であり大区画化、汎用化された農地です。農業を成長産業へ飛躍させるためには、農業農村整備事業の担う役割が今後益々大きくなってきます。

さらに、今年10月には福井県で全国土地改良大会が開催されます。各地から訪れる多く

の土地改良関係者に全国トップクラスの農業生産基盤をPRするとともに、「いちほまれ」をはじめとする県産ブランド農産物、おいしい食や観光資源といった本県の魅力を発信できるよう、しっかりと応援させていただきます。

今後も、本県の農業・農村の振興に全力で取り組んでまいりますので、水土里ネットふくいならびに会員の皆様方のますますのご支援、ご協力をお願いいたします。

年頭に当たり、皆様のご多幸とご活躍をお祈り申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。





年頭のご挨拶

北陸農政局長 川 合 規 史

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様方におかれましては、日頃から農林水産行政、とりわけ農業農村整備事業の推進にご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

特に、昨今は、肥料・飼料のほか燃料・電気料金も高騰する中で、適切な土地改良施設の維持管理等に努めていただいておりますことに深く敬意を表します。

さて、農政の根幹である「食料・農業・農村基本法」は、制定から約20年が経過し、昨今では、世界的な食料情勢の変化に伴う食料安全保障上のリスクの高まりや、気候変動、海外市場の拡大等、我が国の農業を取り巻く情勢が制定時には想定されなかったレベルで変化しています。

このような状況を踏まえ、農林水産省では、昨年9月から、制定後初めての法改正を見据えて総合的な検証を行い、見直しに向けた検討を進めるとともに、年末には食料安全保障強化政策大綱を決定し、食料安全保障の強化のための重点対策を位置付けたところです。食料・農業・農村政策は、国民一人一人に関わる問題であるため、その検証・見直しに向けては、各方面から幅広くご意見を伺い、国民的コンセンサスの形成に努めながら、しっかりと検討を進めていくこととしています。

耕地面積の約9割が水田である北陸地域では、農業産出額の約6割を米が占めるなど、水稻を中心とした農業経営が行われており、大規模な法人経営や集落営農が展開され、経営規模の拡大が図られています。しかしながら、基幹的農業従事者の高齢化が進んでおり、若い農業者の確保が大きな課題です。このような状況を打破し、北陸の農業を発展させるには、畑地化の推進による野菜や果樹など高収益作物の導入、生産コストの削減、輸出の促進や担い手の育成・確保などに取り組む必要があります。若者にとって魅力ある農業を実現することが重要であると考えています。

そのためにも、農地の大区画化・汎用化を進め、担い手に農地を集積するとともに、ロボット技術やICTを活用したスマート農業の導入による水管理の合理化、農作業の効率化

を進める必要があります。

また、昨年8月には、北陸管内において大雨による大規模な災害が発生しました。土地改良施設の防災機能に関しては、排水機場のほか、流域治水の観点から農業用ダムやため池の洪水調節機能の強化、田んぼダムの取組などが、農地だけでなく市街地や集落などの洪水防止にも貢献していることが認知されてきています。今後、土地改良区や農家の皆様のご理解とご協力を頂きながら、災害を未然に防止する取組を進めてまいります。

土地改良区については、農地の整備や土地改良施設の管理を通じて、生産基盤の維持、地域資源の保全等の重要な役割を担っていただいているところです。今後とも、地域の農業・農村を支えていただくべく、引き続き、組合員資格、役員、会計基準等に関する新たな制度の定着・活用による運営基盤の強化を図る取組、女性理事の登用など女性活躍・男女共同参画に向けた取組の推進をお願いいたします。国としても、それらの取組をしっかりと支援してまいりたいと思います。

12月には、農業農村整備事業関係予算として、電気料金高騰対策、農家負担軽減対策も含め、令和4年度補正予算で1,677億円、令和5年度当初予算概算決定では4,457億円が計上され、合わせて6,134億円が確保されました。

北陸農政局においても、素晴らしい北陸の農業・農村が次の世代へ確実に引き継がれるよう、地域の皆様の声をよくお聞きしながら、確保された予算を基に、土地改良区の体制強化を含め農業生産基盤の整備、農業水利施設の更新・長寿命化、農村地域の防災・減災対策を効果的に推進し、将来を見据えた農業・農村の構築に努めてまいります。

結びに、本年も引き続き農林水産行政の推進についてご理解とご協力をお願いいたしますとともに、福井県土地改良事業団体連合会の益々のご発展、また関係者の皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、年頭のご挨拶といたします。



新年に当たって

全国水土里ネット
会長 二階 俊 博

令和5年の年頭に当たり、土地改良に携わる全国の皆様に、謹んで新年の御祝詞を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、様々な感染対策を講じた上で、新型コロナウイルスへの対応と社会経済活動の両立を図るウイズコロナの方針が示されました。皆様におかれましては、「新しい生活様式」を日常生活に取り入れ、引き続き、感染拡大防止に十分ご留意いただきますようお願いいたします。

また、昨年は、ロシアによるウクライナ侵攻の影響もあり、一部の国では穀物の輸出規制が実施されるなど、食料流通の機能不全や食料価格の高騰など食料安全保障をめぐる負の影響が国際社会に生じました。

国内では、農業者の高齢化や減少により、農地や農業用水の管理に支障が生じているほか、燃料価格の上昇に伴う農事用電力料金の急激な高騰が土地改良区の運営を圧迫しています。

このような国内外の情勢にかかわらず、食料安全保障の観点から、日本の食料生産を支える農業生産基盤を維持し、国民の不安を解消していかなければなりません。

岸田内閣は、こうした状況を踏まえて「食料・農業・農村基本法」の見直しに着手しました。この検討の動きを注視しつつ、我々土地改良関係者は、農業・農村の喫緊の課題に積極的に取り組んでいく必要があります。

令和5年度予算につきましては、農業農村整備の着実な推進を求める全国の皆様からの熱意ある要請活動により、政府予算案において、4,457億円を確保することができました。この結果、令和4年度の補正予算を含めると6,134億円となります。

また、令和4年度補正予算において燃料価格の上昇に伴う土地改良区の電気代高騰分の7割を支援する仕組みが導入されました。

御尽力をいただいた当局をはじめ関係各位に心から御礼を申し上げます。

他方、第5次男女共同参画基本計画に続き土地改良長期計画においても令和7年度までに

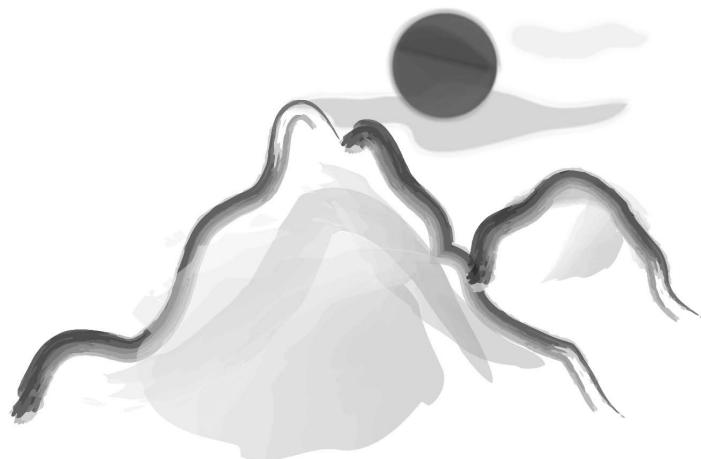
土地改良区及び土地改良区連合の女性理事の割合を10%以上とすることが成果目標とされており、我々土地改良団体における喫緊の重要課題となっています。

将来の組織体制の強化・発展のためにも女性参画を進めていかなければなりません。皆様の御理解と御協力を賜りたいと存じます。

さて、私は本会の会長に就任以来「闘う土地改良」を掲げ、組織一体となって闘ってまいりました。昨年の参議院選挙においては、土地改良の代表として進藤金日子参議院議員が見事に当選を果たされました。

宮崎雅夫参議院議員と共に「車の両輪」となって、全国を駆け回り、皆さんの声を聞き、土地改良予算の確保だけでなく、現場が直面している課題解決の処方箋を国の政策に反映させるよう奮闘しておられます。皆さんの声が国会に届くよう、二人の活動の支援をお願いいたします。

輝かしい年の初めに当たり、本年も皆様各々の地域において更に農業・農村が活力を得て、一層発展しますよう御期待申し上げますとともに、様々な不安が払拭され、本年が全国の皆様にとって良き年であり、日々健やかに過ごされますよう御祈念申し上げまして、私の新年の御挨拶といたします。





新年のご挨拶

全国水土里ネット会長会議顧問
参議院議員 進 藤 金 日 子

新年、明けましておめでとうございます。福井県土地改良事業団体連合会の皆様には、旧年中、大変お世話になりました。お陰様で先般の参議院議員選挙で再選を果たすことができました。二期目においても、引き続き現場主義、地域主義に徹して政策実現に努めてまいりる覚悟です。本年も何卒宜しくお願い致します。

懸案の土地改良予算については、昨年12月に成立した令和4年度補正予算で1,677億円（TPP等対策：760億円、国土強靱化5か年加速化対策：817億円、食料安全保障対策：100億円）が措置されました。TPP等対策と国土強靱化5か年加速化対策は、昨年度補正予算に比較して減額されていますが現場の実情等を踏まえて所要額を確保したものであり、農業水利施設にかかる電気料金の高騰対策も盛り込まれ、皆様の要望に沿った内容となっています。

また、令和5年度当初予算政府原案は昨年度より4億円増加の4,457億円で補正予算と合わせて6,134億円となり、本年度と同様に地域の要望に応えられる所要の予算が確保できたものと考えています。

さて、昨年を振り返ると、新型コロナウイルス感染症が続く中、2月のロシアのウクライナへの侵略により、エネルギー価格の上昇、小麦・とうもろこし等穀物価格や飼料価格の上昇、肥料価格の高騰、それに加えて円安の急激な進行による物価の上昇等があり、これらは国民生活に大きな影響を与えています。政府は、補正予算等によりエネルギー価格や電気料金、肥料価格等の高騰対策を講じてきたところですが、これらを含め物価高は本年も続くと思われます。引き続き、物価動向を注視しながら必要な対策を講じていくことが重要であり、私も皆様の声に耳を傾けながら各種対策の実現に貢献してまいりる覚悟です。

昨年7月の再選後、全国各地で講演等を行ってまいりました。そこで感じたのは、経済安全保障と食料安全保障に対する国民の意識の高まりです。昨年後半の急激な円安の進行も踏まえ、各種生産拠点の国内回帰をはじめ国内における強靱なサプライチェーン再構築の緊急性を改めて認識しております。

また、昨年6月13日に私は参議院決算委員会で、私の政治信条である「食料安全保障」

について質問し、岸田総理に対し食料安全保障の確立に対する認識と決意を質しました。総理からは「食料の安定供給の確保は国家の国民に対する最も基本的な責務の一つである。骨太の方針の中で、将来にわたる食料の安定供給確保に必要な総合的な対策の構築に着手し、食料安全保障の強化を図る方針を示したところであり、新しい資本主義のビジョンの下、食料安全保障を強化するべく政府一体となって取り組んでいきたい」との答弁を頂きました。

私は、「食料供給力」（国内生産力、輸入力、備蓄）の中で最も弱体化している国内生産体制の強化が喫緊の課題で、まさに「食料自給力」の強化が不可欠であると訴えています。その最も基礎的なものが「農地・水等の農業資源」であり、自給力の強化を図るには、農地と水の持つ機能を高める土地改良が不可欠です。農業生産に必要な労働力や熟練の技術をICTやAIで代替するスマート農業を展開していくためにも、土地改良を中長期的な展望を持って推進していくことが重要です。このため、今後も予算を安定的に確保するとともに、貴重な予算を効率的、効果的に執行し、目に見える成果を出していく必要があります。本年も土地改良推進に対する貴連合会の皆様のご協力をお願い致しますとともに、皆様からのご指導とご鞭撻を心からお願い申し上げ、新年のご挨拶にさせていただきます。





新年ご挨拶

全国水土里ネット会長会議顧問
参議院議員 宮 崎 雅 夫

輝かしい新年を迎え、福井県土地改良事業団体連合会の会員各位ならびに関係の皆様へ謹んで初春のお慶びを申し上げます。

皆様方におかれましては、日頃より地域の水と土を守り、農業の発展や農山村の活性化に向け、農業農村整備事業の円滑な推進ならびに土地改良施設等の適切な管理や土地改良区の適正な運営にご尽力いただいておりますことに敬意を表しますとともに、旧年中は、私の活動に対し多大なるご支援とご指導を賜りましたことに衷心より感謝申し上げます。

さて、私も皆様方から多くのご支援をいただきながら、昨年8月まで農林水産大臣政務官を勤めさせていただき、その間、皆様方から多くのご要望等をお受けしましたが、それぞれの課題解決等に向け、一所懸命に対応させていただきました。これらご要請の事項を含め、昨年12月に成立した令和4年度第2次補正予算では、農林水産関係で総額8,206億円、うち、農業農村整備事業関係については、1,677億円が措置され、この中には、皆様方から強いご要望があった土地改良施設にかかる電力料金高騰対策として、増嵩分の7割を支援する新たな制度も含まれています。また、令和5年度当初予算の概算決定額として、前年を上回る4,457億円が閣議決定され、合計額6,134億円となる見込みとなりました。これから行われる国会での議論において、しっかりと確保できるよう一所懸命に努めてまいります。

さらに、電気料金高騰だけでなく肥料や飼料の価格高騰など農業分野での資機材価格の高騰やカロリーベースで6割程度を輸入に頼る我が国の食料事情にあって、我が国の食料安全保障の確立に向けた取り組みが大きな課題となっております。我が国の人口は減少傾向にある一方で、昨年11月には国連から世界人口が80億人に達したとの発表がなされ、210年には109億人に到達するとの予測もあります。生命の維持に欠かすことができない食料の確保は、全ての人々が健康で充実した生活を送るための基礎として、極めて重要です。我が国にとどまらず世界の各国が、充分で、安全かつ栄養ある食料に「誰でも」「いつでも」「入手」できるよう、我が国においても自国での生産能力を可能な限り向上させることが、世界的な責任でもあると考えています。

国内の農業生産に欠かせないものが「農地・水」であり、その整備を行うことが「土地改良」そのものです。農業従事者の高齢化や減少に対応するスマート農業の推進や頻発する自然災害に対応した農村の強靱化の推進など時代の要請にも応えながら土地改良をしっかりと前に進めていくことが重要です。現在、食料安全保障強化も含め農業農村分野の憲法というべき食料・農業・農村基本法の検証、見直しが進められ、まさしく大きなターニングポイントに差し掛かっています。皆様からのご意見をしっかりと伺いしながら、将来の農業農村の発展につながるよう、土地改良の重要な役割を認識しつつ、積極的に対応していきたいと考えています。

私も、卯年の今年は年男を迎えますので、「食・土地改良・農山漁村は未来への礎」を理念に初心に立ち返り、これまでも増して現場主義に徹し、現場や地域の課題をしっかりと伺いして皆様のお声を国政に届け、必要な予算の確保と現場の実情に即した制度の充実に向け、誠心誠意努力してまいる決意ですので、引き続きご指導とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びに、福井県土地改良事業団体連合会ならびに関係機関の益々のご発展と、皆様方のご健勝を心より祈念申しあげ私の新年の挨拶とさせていただきます。

本年もよろしくお願い申し上げます。





新年のご挨拶

福井県農林水産部農村振興課
課長 本田 照 男

新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

水土里ネットふくいの会員の皆様方には、新年を迎えられ、ますますご健勝のこととお慶び申し上げますとともに、日頃から農業農村整備事業の推進を通じ、本県の農業・農村の振興に多大なご尽力を頂いておりますことに、心よりお礼申し上げます。

農業・農村をめぐる情勢は大きく変化しており、近年においても農業者の高齢化や減少、燃料価格、電気料金の高騰など様々な課題に直面しています。さらには気候変動に伴い大雨等による災害が激甚化、頻発化しています。

本県においても昨年の8月3日から5日にかけて、嶺北地方を中心に線状降水帯が発生し、1時間当たり80mm～110mmの激しい雨に見舞われ、鉄道、道路、河川等の公共施設、農地および農業施設、農作物、住家などに極めて大きな被害が発生しました。この豪雨災害による農作物の被害は1.3億円、農地・農業用施設の被害は6.2億円を超えました。ハナエチゼン、コシヒカリの収穫を控えた時期に農地への土砂流入や畦畔の崩壊、頭首工や用排水路の損壊など国営造成施設を含む農地・農業用施設に大きな被害が生じました。

被災された農業者の皆さまが1日でも早く営農が再開できるよう、引き続き国や市町、土地改良区等の関係者と協力し災害復旧に全力で取り組んでまいります。

さて国においては、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現させるため、中長期的な観点から戦略的に取り組む政策方針をとりまとめ、令和3年5月に「みどりの食料システム戦略」が策定されました。さらに「食料・農業・農村基本法」の令和5年度中の改正に向け昨年9月から作業に着手しています。

昨年末には令和5年度予算の概算決定があったところであり、県としても競争力強化や国土強靱化など農業農村整備の重点事項の計画的な推進を目指してまいります。

また、県においては長期ビジョンを策定しており、その実行プランにおいて農林水産業を次世代に引き継ぎ、その魅力を福井の発信に活用すること、新技術を活用して、ふくいの農林水産業を力強い成長産業にレベルアップすることを掲げています。具体的には、集落営農組織の広域化による大規模法人の育成とあわせたスマート農業の効果を最大限発揮する基盤整備の推進、農山漁村地域の基盤づくりとして農業水利施設の長寿命化対策、災害に強い生

産基盤づくり、多面的支払交付金等を活用した地域の共同活動の推進を主な取り組みとしています。ビジョンの実現に向け本年も着実に農業農村整備事業を進めてまいります。

さらに、今年の10月11日から13日にかけて全国水土里ネット、水土里ネットふくいの主催による全国土地改良大会が福井県で開催されます。この大会は、農業・農村の重要性和農業農村整備事業の役割を広く県内外にアピールし、次世代へ引き継いでいく意義のある大会です。全国から集う農業農村整備関係者に対して、素晴らしい福井の土地改良とその歴史、また農林水産物や伝統文化など、福井の魅力を発信する機会であり県としても積極的に連携して取り組んでまいります。

最後になりますが、今後も農業の成長と農村の継承に向けた農業農村整備事業に全力で取り組んでまいりますので、皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

年頭に当たり、皆様のご健勝と益々のご活躍をお祈り申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



行事報告

福井県土地改良事業団体連合会 第64回通常総会



▲挨拶をされる山崎会長

令和4年3月21日(月・春分の日)、福井県自治会館にて「福井県土地改良事業団体連合会 第64回通常総会」を開催しました。前年同様、会場の人数制限を設けて新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じ、土地改良功労者等表彰についても実施しました。

まず山崎会長が挨拶の中で、土地改良関係予算確保への会員並びに関係各位の協力への御礼と、引き続き強固な連携を呼びかけられました。また、全国土地改良大会福井大会の令和5年度開催が正式に決定

した旨とともに、会員に対し大会への支援、協力をお願いしました。続いて、来賓の杉本達治福井県知事、宮本俊福井県議会副議長、桑原耕一北陸農政局農村振興部長からそれぞれご祝辞をいただきました。

議事では真名川土地改良区連合の伊藤久美男理事長が議長に選任され、下記議案について全議案原案どおり可決されました。役員の補欠選任では、理事、監事各1名が新たに就任されました。

【議案】

第1号議案	令和2年度事業報告・一般及び特別会計収支決算並びに財産目録について
第2号議案	令和3年度一般及び特別会計収支補正予算の専決処分に係る報告承認について
第3号議案	福井県土地改良事業団体連合会定款の一部改正について
第4号議案	令和4年度事業計画並びに一般及び特別会計収支予算について
第5号議案	令和4年度経費の賦課及び徴収の方法について
第6号議案	令和4年度役員報酬について
第7号議案	余裕金の預入先及び運用方法について
第8号議案	役員の補欠選任について

【役員名簿】 (●:新役員)

会 長	山 崎 正 昭	参議院議員	理 事	上 嶋 善 一	日野川用水土改区理事長
副 会 長	廣 畑 佐 一	学識経験者	〃	佐々木 勝久	鯖江市長
専務理事	野 坂 雄 二	学識経験者	〃	杉 本 博 文	池田町長
理 事	木 村 市 助	芝原用水土改区理事長	〃	松 崎 晃 治	小浜市長
〃	吉 川 强	足羽川堰堤土改区連合理事長	〃	●渡 辺 英 朗	若狭町長
〃	河 合 永 充	永平寺町長	〃	川 合 久 利 子	学識経験者
〃	山 本 文 雄	九頭竜川鳴鹿土改区理事長	〃	竹 内 成 子	学識経験者
〃	木 村 强	坂井土改区理事長	代表監事	齊 藤 恵 治	坂井北部土改区理事長
〃	西 川 文 人	大野市土改区理事長	監 事	●青 柳 良 彦	越前町長
〃	水 上 実 喜 夫	勝山市長	〃	中 村 春 彦	美浜中部土改区理事長

全国土地改良事業団体連合会 第64回通常総会

令和4年3月24日(木)、全国都市会館にて「全国土地改良事業団体連合会 第64回通常総会」が前年同様規模を縮小して開催され、本県は北陸ブロック当番県として出席しました。

総会では定款、規約の一部改正、令和2年度収支決算、令和4年度事業計画と収支予算、役員の補欠選任等、全14議案が審議され全議案原案通り承認可決されました。

なお、昨年同様通常総会終了後に開催されていました「全国水土里ネット表彰式」が中止となったことをうけ、福井県内の受賞者に対しましては、8月10日(水)に開催した、当会の第225回理事会終了後、表彰状授与式を執り行いました。(関連記事19頁)

第14回 福井県農村整備事業推進協議会 通常総会



▲会場風景

令和4年6月1日(水)、福井県自治会館にて「第14回 福井県農村整備事業推進協議会 通常総会」を開催し、令和3年度の事業報告並びに決算、令和4年度の事業計画並びに予算等について全5議案全て原案通り承認可決されました。

総会終了後、福井県農村振興課 計画調査グループの山口清一郎主任と農村環境グループの野村昇平主任を講師に、農業農村整備事業予算と土地改良法改正についての講義を行い、最後に、当会 土地改良大会推進室の小林隆幸室長が出席の各市町農業農村整備事業担当課長等に対して福井大会への支援、協力を呼びかけました。

福井県土地改良事業団体連合会 第225回理事会



▲挨拶をされる山崎会長

令和4年8月10日(水)、ザ・グランデュアーズフクイにて「福井県土地改良事業団体連合会 第225回理事会」を開催しました。先立って6月28日(火)に第143回監事会を開催し、決算監査が行われており、本理事会において代表監事より監査報告をいただきました。当日は、下記議案が審議され、全議案原案通り可決承認されました。

議事終了後には、令和5年度開催の「全国土地改良大会 福井大会」について、事務局より進捗状況を報告しました。



▲会場風景

第1号議案	令和3年度 事業報告について
第2号議案	令和3年度 一般及び特別会計収支決算並びに財産目録について
第3号議案	土地改良施設維持管理適正化資金拠出金約款の一部改正について
第4号議案	土地改良施設維持管理適正化事業事務処理要領の一部改正について

福井県受益農地管理強化委員会



▲会場風景

令和4年7月6日(水)13時半から、福井県土地改良会館役員室にて、代理を含めた委員8名並びに事務局が出席し「福井県受益農地管理強化委員会」を開催しました。

議事では、令和3年度事業報告及び収支決算、令和4年度事業計画及び収支予算について報告、協議がなされどちらも原案通り承認されました。

福井県管理運営体制強化委員会

令和4年7月6日(水)14時半から、福井県土地改良会館役員室にて、代理を含めた委員7名並びに事務局が出席し「福井県管理運営体制強化委員会」を開催しました。

議事では、令和3年度事業報告及び収支決算、令和4年度事業計画及び収支予算について報告、協議がなされどちらも原案通り承認されました。

福井県多面的機能発揮推進協議会 通常総会

「福井県多面的機能発揮推進協議会 通常総会」は昨年同様開催を見合わせ、令和3年度の事業報告及び収支決算、令和4年度の事業計画及び収支予算等の議案は、令和4年5月11日書面による議決をもって原案のとおり承認されました。新役員の任期は1年間となります。

● 令和4年度 新役員

会 長	福井県 農林水産部農村振興課 課長	本 田 照 男
副 会 長	福井市 農林水産部 部長	清 水 拓
	福井県土地改良事業団体連合会 専務理事	野 坂 雄 二
監 事	敦賀市 産業経済部 部長	増 田 一 条
	福井県農業協同組合中央会 参事	新 田 聡

令和3年度 北陸地区農地集団化促進協議会 総会

例年6月に開催されていた「北陸地区農地集団化促進協議会 総会」は昨年同様開催を見合わせ、令和3年度事業報告並びに収支決算、令和4年度事業計画並びに収支予算、新役員の選任等の議案は書面による議決をもって、原案のとおり承認されました。新役員の任期は1年間となります。

● 令和4年度 新役員

会 長	福井県土地改良事業団体連合会 会長	山 崎 正 昭
副会長	新潟県土地改良事業団体連合会 会長	三 富 佳 一
理 事	富山県土地改良事業団体連合会 会長	堂 故 茂
理 事	石川県土地改良事業団体連合会 会長	梶 文 秋
監 事	新潟県土地改良事業団体連合会 専務理事	坪 谷 満 久
監 事	富山県土地改良事業団体連合会 専務理事	永 森 雅 之
参 与	福井県農林水産部農村振興課 課長	本 田 照 男

また、表彰式は行いませんでしたが、北陸4県の土地改良区職員の方々の農地集団化への貢献に対する「令和3年度北陸ブロック永年勤続表彰者」表彰がありました。福井県からは、清水土地改良区の尾崎牧男事務局長がその功績を讃えられました。

土地改良功労者等表彰

福井県土地改良事業団体連合会 第64回土地改良功労者表彰・感謝状

令和4年3月21日(月・春分の日)に開催した第64回通常総会(15頁)にあわせて、「第64回土地改良功労者表彰・感謝状贈呈」を開催しました。

今回の表彰では、土地改良事業の推進にご尽力いただいている土地改良区役職員9名の方々に表彰状を、また、永年勤続者5名の方々に感謝状を贈呈しました。

● 個人表彰

【役員表彰】 7名

野 端 一 巳	高間川土地改良区 理事長
高 橋 文 利	十郷用水土地改良区 理事
牧 野 元 恵	勝山市土地改良区 理事長
松 田 山 列	大野東部土地改良区 理事長
酒 井 篤	大野市土地改良区 監事
小 椋 忠 夫	元 木の本原土地改良区 理事
今 村 政 治	元 南条土地改良区 理事長

【職員表彰】 2名

小 泉 治 人	坂井北部土地改良区 総務課課長補佐
藤 内 良 満	鳥羽川水系を守る会 会長 旧上中町職員

● 感謝状 5名

木 戸 敏 浩	元 福井県農林水産部 副部長
竹 澤 嘉 康	元 福井県坂井農林総合事務所 農村整備部長
竹 内 義 美	元 福井県土地改良事業団体連合会 事業部 土地改良課 課長
五十嵐 正 喜	元 福井県土地改良事業団体連合会 事業部 次長
糸 魚 川 薫	元 福井県土地改良事業団体連合会 事業部 土地改良課 課長



▲一列に並ぶ表彰者の皆様



▲個人表彰者代表：高間川土地改良区 野端理事長



▲感謝状受賞者代表：木戸 敏浩氏

※ 個人表彰者の役職については令和4年3月21日表彰時のものを記載しています。

第63回全国土地改良功労者等表彰・ 令和3年度農業農村整備優良地区コンクール 表彰状授与式

令和4年8月10日(月)の第225回理事会(16頁)終了後、「第63回全国土地改良功労者等表彰・令和3年度農業農村整備優良地区コンクール 表彰状授与式」を開催しました。これは、全国土地改良事業団体連合会が3月の総会にあわせて実施していた表彰式が中止となり、表彰者の功績を讃えるため実施したものです。

今回は、全国土地改良功労者表彰の団体表彰3団体と個人表彰1名、農業農村整備優良地区コンクール農業振興部門の1団体の表彰となりました。受賞が発表されてから時間が経ってしまいましたが、表彰者の皆様を役員一同で和やかに祝福する機会となりました。



● 第63回 全国土地改良功労者等表彰

【団体表彰】

農林水産大臣表彰

高棕用土地改良区 (理事長 木村 強)

全土連会長表彰

芦原土地改良区 (前理事長 川崎 正規)

大野市土地改良区 (理事長 西川 文人)

【個人表彰】

全土連会長表彰

福井 明美 (おおい町土地改良区 理事
福井県土地改良事業団体連合会 前理事)

● 令和3年度 農業農村整備優良地区コンクール

【農業振興部門】

全国水土里ネット会長賞

細呂木地区

(細呂木北部土地改良区 理事長 酒井 新一郎)



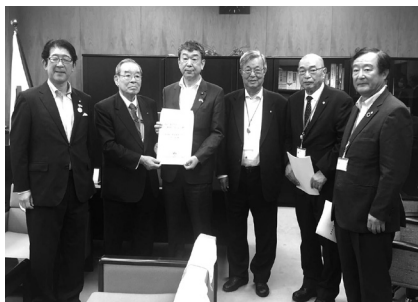
※ 役職等については各要請活動時のものを記載しています。

要請活動

北陸四県土地改良事業団体連合会協議会 令和4年度中央要請

いずれの要請にも各県の土地改良事業団体連合会から正副会長、事務局が出席し、面談等の際には各県の状況を伝えるとともに、令和5年度の予算確保へ向けた理解と協力をお願いしました。

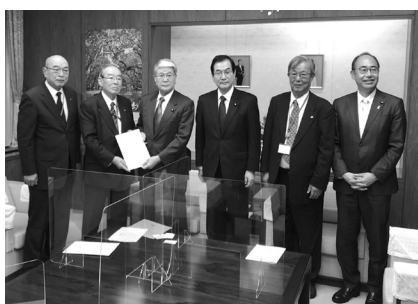
● 令和4年 6月13日(月)・14日(火)



▲中村裕之農林水産副大臣への要請風景(6月)

13日は農林水産省政務三役並びに農村振興局幹部へ、14日は財務省並びに自由民主党本部へ要請書を持参しました。中村裕之農林水産副大臣、鈴木俊一財務大臣、二階俊博全土連会長、麻生太郎自由民主党(以下、自民党)副総裁とは直接面談の機会がありました。

● 令和4年 10月19日(水)・20日(木)・21日(金)



▲野村哲郎農林水産大臣への要請風景(10月)

19日は農林水産省と財務省の政務三役並びに農村振興局幹部、主計局幹部に要請書を持参しました。麻生太郎自民党副総裁、宮本周司財務省政務官、野村哲郎農林水産大臣、青山豊久農村振興局長とは直接面談しました。

20日は進藤金日子参議院議員、宮崎雅夫参議院議員と面談し、県選出国會議員に要請書を持参しました。

21日は自民党本部へ伺い、二階俊博全土連会長と面談し、その後総務会長、政務調査会長、農林部会長等に要請書を持参しました。

全国土地改良事業団体連合会・都道府県土地改良事業団体連合会 合同要請

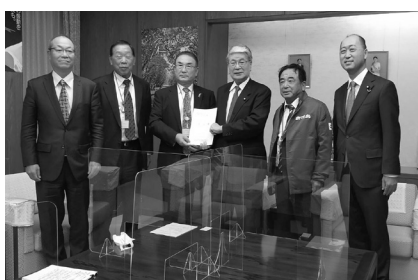


▲金子原二郎農林水産大臣への要請風景(6月)

令和3年度は開催が中止されていた「農業農村整備の集い」が、令和4年度は6月14日(火)並びに、10月20日(木)にシェーンバッハサボーにて開催されたことを受け、例年集いの終了後に実施されていた、全国土地改良事業団体連合会(以下、全土連)と都道府県土地改良事業団体連合会(以下、地方土連)による合同要請活動も復活しました。

ただし庁舎への入庁人数の制限から、6月、10月いずれの要請活動にも、地方土連は同行せず、全土連が農林水産大臣、財務大臣と面談するとともに、各要請先(農林水産省、財務省)の幹部に対して要請書を持参し要請をおこないました。

農林水産省での要請活動には宮崎雅夫参議院議員が同行くださいました。



▲野村哲郎農林水産大臣への要請風景(10月)

県内各農業農村整備事業推進協議会 合同要請

福井県内の5管内ごとに組織されている農業農村整備事業推進協議会を代表する土地改良区理事長等並びに福井県農村振興課とともに、中央要請活動を行いました。面談の際には、来年度の土地改良予算確保と新規要望地区採択に向けた支援と協力をお願いしました。



▲宮崎雅夫農林水産大臣政務官への要請風景(6月)

● 令和4年 6月14日(火)・15日(水)

14日は農林水産省にて農村振興局幹部に要請書を持参し、牧元幸司農村振興局長、宮崎雅夫農林水産大臣政務官と直接面談しました。

15日は山崎正昭参議院議員はじめ福井県選出国會議員と面談し意見交換ができました。



▲山崎正昭参議院議員への要請風景(10月)

● 令和4年 10月20日(木)・21日(金)

20日は農林水産省にて農村振興局幹部に要請書を持参した後、高木毅衆議院議員、稲田朋美衆議院議員と面談しました。

21日は進藤金日子参議院議員に要請書を持参したほか、山崎正昭参議院議員、滝波宏文参議院議員、宮崎雅夫参議院議員とは面談、意見交換ができました。

農業関連5団体による 合同要請

昨年に続いて農業関連5団体(下記参照)による合同要請活動が行われました。この合同要請は、共通する重要課題解決のため、(一社)福井県農業会議、福井県農業協同組合中央会、福井県農政連、福井県農業共済組合、福井県土地改良事業団体連合会の5団体で行っています。



▲山崎参議院議員、高木衆議院議員、滝波参議院議員への要請風景

● 県選出国會議員要請 令和4年 7月31日(日) 福井パレスホテル

当会からは、廣畑佐一副会長と事務局が出席しました。

山崎正昭参議院議員、滝波宏文参議院議員、高木毅衆議院議員と懇談を行い、各団体から所管の事項について説明しました。その後、福井県農業会議 石山志保会長が代表して、山崎参議院議員へ要請書を手渡しました。

● 福井県知事要請 令和4年 8月19日(金) 福井県庁

当会からは山崎正昭会長と廣畑副会長、事務局が出席しました。

杉本達治福井県知事、農林水産部より児玉康英部長、稲葉明人副部長、上中昭博副部長に対して、大雨により被災した農業者や農地・農業用施設への支援をはじめ、各団体がそれぞれの課題等について説明をし、要請書を手渡しました。



全国土地改良大会 福井県知事要請



▲杉本知事に要請書を手渡す山崎会長



▲PRビデオ鑑賞中風景

令和4年8月19日(金)福井県庁にて、令和5年10月に福井県での開催が決定した「第45回全国土地改良大会 福井大会」への福井県による支援をお願いしました。

当日は、山崎会長と廣畑副会長、事務局が大会ポロシャツを着用し、杉本知事、児玉農林水産部長、本田照男農村振興課長に大会概要を説明し、今年、沖縄大会会場で公開する福井大会PRビデオを紹介しました。

全国土地改良大会は、全国から約3,000人の参加者が一堂に会する大会です。新幹線開業を控える福井県にとっても絶好のPRの機会と考え、支援をお願いしました。

杉本知事も「福井のおいしいものや観光をPRできる場でもあり、一生懸命応援したい。」と応じてくださいました。

農業農村整備事業 福井県知事要請



▲杉本知事に要請書を手渡す山崎会長

令和4年12月27日(火)福井県庁にて、令和5年度当初予算の編成に向けて、杉本知事に要請活動を行いました。

当日は、山崎会長と廣畑副会長、木村市助理事、西川文人理事、上嶋善一理事、竹内成子理事、齊藤恵治代表監事、野坂専務理事が杉本知事と面談し、農業農村整備事業の着実な推進と、施設の適切な維持管理体制の強化、また、全国土地改良大会福井大会の成功に向けた福井県の協力についてお願いしました。

山崎会長は挨拶の中で、農業農村の厳しい状況を伝えるとともに、8月に発生した豪雨災害の復旧工事を含めた事業の推進や、施設の維持管理を担う土地改良区への支援を要請するとともに、11月に開催された土地改良大会沖縄大会での次期開催県としてのPR活動についても報告されました。

杉本知事も「福井の農業は高い基盤整備率のお陰で新たなチャレンジが進んでいる。若い農業者が生まれるような儲かる農業にしていくためにも、基盤整備による生産性の向上や、施設の長寿命化や防災の面を持つ整備には進んで取り組みたい。また、8月の豪雨災害への対策については来年春の作付けに間に合うよう進めていきたい。来年は、土地改良大会福井大会の開催ということで、来場者に整備状況を見てもらうことは勿論、福井県の農産物や観光地を発信する機会として一緒に協力したい。」とのお答えをいただきました。

研修等活動

令和4年度 土地改良区等新採用職員研修



▲(株)ブリッジ長谷氏の講義風景



▲高橋副住職の法話風景

令和4年9月14日(水)、福井県自治会館201研修室にて「令和4年度 土地改良区等新採用職員研修」を開催しました。昨年と同じく、土地改良区等の事務局に勤務する新採用職員と就業5年程度の職員を対象とし12名の参加がありました。

昨年度と同様に(株)ブリッジの長谷美左子氏に講師をお願いしました。前は、ビジネスにおけるマナーの基本や心がけが柱になっていましたが、今回は自己管理能力や会話力等、社会人としての基礎体力を向上させる前向きな姿勢を学ぶことができました。

続いて、福井市田ノ谷町にある大安禅寺の高橋玄峰副住職による法話では、ストレスにも負けない何物にも捕らわれない柔軟な心の持ち方についてお話いただきました。

この研修は、社会人として、人としての成長と、若手職員間の交流を目的に開催しています。受講者の皆さんにとって、今後の業務や生活の中で今回の研修がお役に立てば幸いです。

令和4年度 統合整備推進研修(会計研修)



▲研修会場風景

令和4年9月27日(火)、福井商工会議所コンベンションホールにて、土地改良区の事務担当者等、約66名が出席し「令和4年度 統合整備推進研修(会計研修)」を開催しました。

主催者である全国土地改良事業団体連合会の挨拶の後、午前中は単式簿記方式を継続した場合の貸借対照表の作成方法等について、全土連支援部の野崎敬主任にご説明頂きました。

午後は、財務諸表等の作成手続きや、財務諸表等を活用した財務分析について、全土連支援部の田中克哉主幹よりご説明頂きました。

いずれの土地改良区も、令和4年度から新土地改良区会計基準に沿った会計処理を進めている中、半年後に決算期を迎えるにあたり、大変参考になる研修であったと思います。

令和4年度 土地改良区役職員研修会



▲挨拶をされる山崎会長



▲講義中の石井教授

令和4年10月17日(月)福井県国際交流会館「特別会議室」にて、土地改良区や市町より約85名の参加をいただき「令和4年度土地改良区役職員研修会」を開催しました。

山崎会長の開会挨拶の後、北陸農政局土地改良管理課の石田昭弘課長が講師となり、土地改良法改正を踏まえた「公益性ある団体」としての土地改良区運営について講義をされました。続いて、土地改良管理課の北嶋誠係長による土地改良区における男女共同参画についての講義では、土地改良区における女性理事の数値目標や導入手法等のお話があり、当会の高橋雅之総務課長からは会場の土地改良区理事長等に対して、女性の会設立への理解と協力をお願いしました。講義はいずれも土地改良区運営において必要不可欠な内容で、大変参考になりました。

その後、坂井北部土地改良区の堀江与史朗事務局長、日野川用水土地改良区の宇野一徳管理課長から、土地改良区が実施している非農家を含む地域交流活動について発表をいただきました。

午後は、第45回土地改良大会福井大会に関する概要報告の後、「大区画水田整備の効果と課題」と題して、筑波大学生命環境系 石井敦教授による講義がありました。石井教授は本研修に先駆けて福井県内を視察され、土地改良区や生産組織の代表者と意見交換をしています。講義には県内の現状も盛り込まれ、更に効果的な大区画ほ場の活かし方や整備手法についてのアイデア溢れる内容でした。

最後に当会の千秋越裕事業部長が、当会事業活動の中から、ため池サポートセンターと8月に起きた豪雨災害への取組状況について報告し、全日程が終了しました。

北陸ブロック換地関係異議紛争処理実務研修会



▲研修会場風景

令和4年11月14日(月)と15日(火)、福井県国際交流会館第1・2会議室において、農林水産省、北陸農政局、また、北陸四県から各県職員、連合会職員、約30名が出席し「北陸ブロック換地関係異議紛争処理実務研修会(主催:全国土地改良事業団体連合会)」を開催しました。

主催者並びに来賓挨拶の後、「換地を取り巻く状況について」と題して農林水産省農村振興局土地改良企画課の一條正成課長補佐から情報提供されました。その後、換地関係異議紛争処理事例発表として、新潟県土地改良事業団体連合会、富山県土地改良事業団体連合会、石川県土地改良事業団体連合会、の担当職員より換地業務に従事する中で体験した事案を対応を含めて発表されました。

日頃業務の中で疑問に感じたり、対応に苦慮する点等について、実例を交えて参考となる意見を聞く機会となりました。

ふくい水土里ネット女性の会 設立総会・令和4年度 通常総会・研修会



▲ 祝辞を述べられる 全土連 牧所長



▲ 役員紹介 (左から:竹内会長、川合副会長、八十嶋副会長、野中副会長)

令和4年12月13日(火)九頭竜川鳴鹿土地改良区 1階「会議室」にて、土地改良区並びに連合会より38名の女性役職員に参加をいただき「ふくい水土里ネット女性の会設立総会・令和4年度 通常総会・研修会」を開催しました。

「新たな土地改良長期計画」に示されている通り、福井県土地改良事業団体連合会としても、土地改良区の安定的な運営にとって女性の登用は必要不可欠と考えています。そのため、土地改良分野に携わる女性役職員のネットワークにより横の繋がりを強化することで、土地改良区の円滑な業務運営に資するため「ふくい水土里ネット女性の会」を設立しました。

福井県は、全国で33番目の設立となります。

午前は総会を開催し、設立総会では会則と役員の選任が、令和4年度通常総会では令和5年度事業計画と予算が、議案として審議され全議案承認をいただきました。

午後は研修会を開催し、「水土里ネット女性の会2022～未来へ、土地改良のためにできること～」と題して全国土地改良事業団体連合会 土地改良広報センターの牧千瑞所長に講義をいただきました。その後、意見聴聞会と題して、全土連の牧所長、当会の竹内成子理事と川合久利子理事に、女性団体での活動事例や経験談について意見を伺いました。最後に、会場をお借りした九頭竜川鳴鹿土地改良区の中山圭主事務局長の説明による施設見学で研修会が終了しました。

多くの関係者の皆さんの力をお借りして「ふくい水土里ネット女性の会」を設立することができました。これから、会員の皆さんはじめ、土地改良区等の意見を取り入れながら、情報交換の場として、知見を広げる場として活動していきたいと思っています。

令和5年度 役員 (任期：2年)

会 長	竹内 成子	(福井県土地改良事業団体連合会 理事)
副会長	川合 久利子	(福井県土地改良事業団体連合会 理事)
副会長	八十嶋 由紀恵	(福井土地改良区合同事務所 課長)
副会長	野中 真由美	(大野東部土地改良区 主事)



▲ ふくい水土里ネット女性の会設立記念写真



▲ 意見聴聞会の御三方 (左から:竹内会長、牧所長、川合副会長)



▲ 施設説明をする中山事務局長

第44回土地改良大会 沖縄大会 ～ 水土里の拓くみるく世を鳴らしとぅゆまし守禮の邦から ～

(みるく世: 平和で豊かな世の中、鳴らし: 発信しよう、とぅゆまし: 響かせよう)



▲会場式典風景



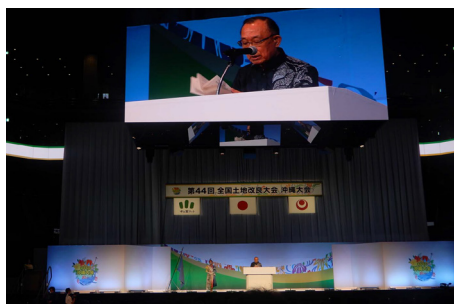
▲会場風景



▲表彰者と山崎会長と廣畑副会長
(左から、牧野氏、山崎会長、木村理事長、廣畑副会長)



▲大会旗引継後の山崎会長(右)
(左から、古謝会長、義経副会長、山崎会長)



▲次期開催県挨拶をされる山崎会長

「第44回全国土地改良大会沖縄大会」は令和4年11月22日(火)沖縄アリーナにて開催されました。沖縄県の本土復帰50周年を記念した本大会は、3年ぶりに全国から一堂に会する土地改良大会となり、約2,300名の土地改良関係者が参集しました。

大会では、主催者や来賓挨拶の後、土地改良事業功績者表彰が行われ、農林水産大臣表彰6名、農林水産省農村振興局長表彰16名、全国土地改良事業団体連合会長表彰(以下、全土連会長表彰)45名が紹介されました。

福井県からはその功績を讃えられ、芝原水土地改良区の木村市助理事長が農村振興局長表彰を、勝山市土地改良区の前理事長である牧野元恵氏が全土連会長表彰を受賞されました。

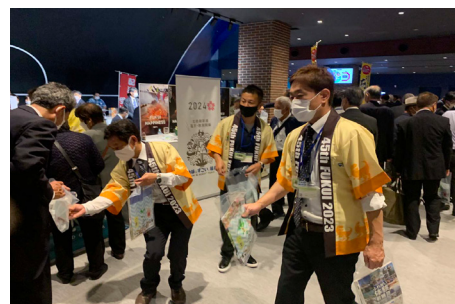
休憩をはさんで、優良事例紹介、大会宣言の朗読の後、次期開催県紹介として会場に福井大会PRビデオが上映されました。続いて大会旗引継となり、沖縄県土地改良事業団体連合会(以下、沖縄県土連)の古謝景春会長から全国土地改良事業団体連合会の義経賢二副会長へ、義経副会長から当会の山崎正昭会長へ大会旗が引き継がれ、会場は大きな拍手で包まれました。

山崎会長が次期開催県として「第45回全国土地改良大会福井大会」は『「水土里」がある「笑顔」がある～ふくいで語る土地改良の未来～』をテーマに令和5年10月11日に開催します。皆様のお越しをお待ちしております。」と挨拶をされた後、沖縄県土連の知念武副会長による閉会挨拶により「第44回土地改良大会沖縄大会」は幕を閉じました。

沖縄大会開催中、次期開催県としてPRブースを設け、福井県スタッフとして参加いただいた土地改良区職員皆様の協力のもと、福井大会のPRも行なってきました。次はいよいよ、福井大会です！！



▲福井県PRブースの様子



▲法被姿で声をかけるPR隊

福井県ため池サポートセンター相談窓口

福井県土地改良事業団体連合会(水土里ネットふくい) 事業部計画設計課

直通電話：0776-23-7776 ファックス：0776-24-1400
メール：jigyo3f@midorinet-fukui.jp

- <受付時間> ▶ 9時から12時 ▶ 13時から16時 ※ 月～金曜日(祝日、休日、年末年始を除く)
- <注意事項>
- ご相談は上記相談窓口(計画設計課)へ
 - 来会、電話、メールでの対応とさせていただきます。
 - ご相談の際には「ため池の番号」をお知らせください。

土地改良法相談窓口

福井県土地改良事業団体連合会(水土里ネットふくい) 事業部土地改良課

直通電話：0776-23-7775 ファックス：0776-24-1400

土地所有者の所在不明や、財産相続人の不明など、圃場整備事業内における「財産管理」に関する問題や、近年増加傾向にある「賦課金の滞納処分」などに関するご相談を承ります。内容に応じ、本会の顧問弁護士に相談を仲介いたします。

会計相談窓口

福井県土地改良事業団体連合会(水土里ネットふくい) 総務部総務課

直通電話：0776-23-7777 ファックス：0776-24-1400

土地改良法の改正により令和4年度から貸借対照表の作成が義務化されたことにより、専門家である税理士および会計指導員による「会計業務」などに関するご相談を承ります。

農業基盤整備資金利率

令和5年1月19日付けの日本政策金融公庫農林水産事業の農業基盤整備資金貸付利率についてお知らせします。

問合わせ先:(株)日本政策金融公庫福井支店
TEL:0776-33-2385
HP: <http://www.jfc.go.jp/a/>

区 分		融資期間にかかわらず	融資期間別(一例)(%)			
			5年	10年	15年	20年
補助事業	県 営	0.95	—	—	—	—
	団体営	0.80	—	—	—	—
非 補 助	一 般	0.80	—	—	—	—
	利子軽減	0.80	—	—	—	—
災 害 復 旧		—	0.40	0.55	0.75	0.80

水土里ネットふくい(福井県土地改良事業団体連合会)の連絡先

〒910-0014 福井県福井市幾久町8番17号 (FAX) 0776-24-1400 <http://www.midorinet-fukui.jp>

総務課、企画開発課	(TEL) 0776-23-7777	soumu@midorinet-fukui.jp
土地改良課	} (TEL) 0776-23-7775	jigyo4f@midorinet-fukui.jp
システム管理課		
計画設計課	} (TEL) 0776-23-7776	jigyo3f@midorinet-fukui.jp
環境計画課		
(農村環境分析センター)	(TEL) 0776-23-8560	

嶺南事務所 〒919-1556 福井県三方上中郡若狭町玉置11-58 (TEL/FAX) 0770-57-2727

